



おのまち 議会だより

166号

令和3年
5月28日発行



定例会2月会議

4 常任委員会審査

5 令和3年度主要プロジェクト

7 町政を問う!6人が一般質問

14 追跡!あの一般質問を検証

苗をひとつひとつ手渡し!共同作業による田植え風景

定例会2月会議

2月18日～3月1日



▲座席の間隔を空けて本会議を開催

令和3年小野町議会定例会2月会議は、2月18日から3月1日まで12日間の日程で開かれました。

会議では、令和2年度各会計補正予算、令和3年度各会計当初予算、条例の一部改正など21件の町長提出議案と、議員提出議案1件が提出され、議案は22件が全員賛成で原案のとおり可決となりました。

また、6名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたしました。

令和3年度当初予算 一般会計予算総額55億4200万円

令和3年度当初予算は、引き続き人口減少と少子化対策、持続可能な町づくりに全力で取り組むため「未来へ おのまち総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、総合的に事業を展開する内容の予算が計上されました。

各会計の予算総額は下表のとおりです。

※1万円未満切り捨て

会計区分			本年度予算額	前年度予算額	増 減
一般会計			55億4200万円	55億9900万円	▲5700万円
特別会計	国民健康保険		11億6515万円	11億7886万円	▲1371万円
	後期高齢者医療		1億1724万円	1億953万円	771万円
	介護保険		14億6481万円	15億646万円	▲4165万円
	浄化槽整備推進事業		7733万円	7414万円	319万円
	文化・体育振興基金		207万円	217万円	▲10万円
地方企業会計	水道事業	収益的収入	1億6752万円	1億6716万円	36万円
		収益的支出	1億6257万円	1億6197万円	60万円
		資本的収入	4113万円	5932万円	▲1819万円
		資本的支出	1億797万円	1億2333万円	▲1536万円

令和2年度 各会計補正予算

令和2年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正額及び補正後予算額については、右表のとおりです。

<令和2年度補正予算額>

※1万円未満切り捨て

会計区分			補正額	補正後予算額
一般会計			1億7028万円	72億4405万円
特別会計	国民健康保険		▲3152万円	11億9220万円
	後期高齢者医療		581万円	1億1616万円
	介護保険		▲9445万円	14億6478万円
	文化・体育振興基金		31万円	270万円
地方企業会計	水道事業	収益的支出	▲74万円	1億6141万円
		資本的収入	▲1587万円	4345万円
		資本的支出	▲1638万円	1億695万円

条例の一部改正

条例の一部改正7議案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正

福島県の人事委員会の勧告に準じて、通勤手当を令和3年4月より改定するため、所要の改正を行うものです。

◆特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正

田村地方老人ホーム入所判定委員会が令和3年3月31日をもって廃止されることから、小野町単独で入所判定委員会を設置することに伴い、当該委員の報酬について規定するものです。

◆小野町笑顔とがんばり長寿者敬愛条例の一部を改正

顕彰の対象となる90歳及び100歳到達者のうち養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム入所者は除いているものを、住所要件のみに改正するものです。

◆小野町介護保険条例の一部を改正

令和3～5年度までの3年間を期間とする第8期介護保険事業計画における介護保険料率を規定するため所要の改正を行うもので、介護保険料率については据え置き、適用年度のみ改正するものです。



◆小野町公営住宅管理条例の一部を改正

所得税法及び民法の改正に伴い所要の改正を行うもので、寡婦の定義が変更されたことに伴い、関連する条項を改正するとともに、公営住宅の入居にかかる連帯保証人が保証する極度額を家賃の12か月分に相当する額に規定するものです。

◆小野町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正

民法の改正に伴い所要の改正を行うもので、特定公共賃貸住宅の入居に係る連帯保証人が保証する極度額を家賃の12か月分に相当する額に規定するものです。

◆小野町営住宅等条例の一部を改正

町営住宅の廃止に伴い、所要の改正を行うものであり、館廻住宅1戸、前之内住宅2戸、光明院住宅2戸及び七生根住宅1戸を廃止し、当該住宅管理の戸数を減ずるものです。



人事案件

◆人権擁護委員候補者を適任と認定

令和3年6月30日をもって任期満了となります。先崎隆春氏（本町）について、法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うため、人権擁護委員の候補者に推薦したいとして議会に意見を求められたことから、全員一致で推薦は適任と判断したものです。

任期は令和3年7月1日から令和6年6月30日までの3年間です。

ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査

予算決算常任委員会

令和2年度の一般会計及び各特別会計補正予算、令和3年度の当初予算を審査しました。

総務課

問 公共施設準備基金の積み立てを見直してコロナ対策事業に充当してはどうか。

答 基金ごとに目的があつて積み立てを行つており、取り崩しや積み立ては財政状況を踏まえて行つているので、ご理解いただきたい。

問 活力ある地域事業補助金の内容は。

答 27行政区×10万円で予算計上しているが、実際の交付は各行政区の人口割・面積割で支給しており、各地域の環境整備やコミュニティ育成、伝統行事の継承等に活用いただいている。

企画政策課

問 国勢調査において前回より10%の人口が減少した原因は何か。

答 分析はしていないが最近の傾向から考えると、高校卒業後の就職・進学時の転出による人口減少が大きく影響したと考えている。

問 移住支援金は首都圏から来た人が対象だと思うが、首都圏以外の人の差は。

答 首都圏からの移住支援策は、東京一極集中を避ける制度設計のため、首都圏以外からの移住者への支援策は設けていない。住宅取得・家賃等の支援を検討している。

町民生活課

問 消防団員の定数は380名だが、現状は358名と定数割れが続いているが、消防団としてどのように団員確保を検討しているのか。

答 消防団の定員割れは全国的にも厳しい状況、小野町は充足率94%と全国平均より高い。分団長会議でも募集方法の工夫や機能別団員への配属替えなどを検討している。

問 夏井川の水質検査はいつ、どの辺で、どのようにおこなわれているのか。

答 右支夏井川水系で、町内14か所、年4回実施している。内容は水素イオン濃度・大腸菌群数など5項目の検査を行っている。

健康福祉課

問 ワクチン接種に関し、医師・看護師の確保状況についてはどうなっているのか。

答 現在、医師会と調整している。看護師については、公立小野町地方総合病院に対応できないか相談している。

問 高齢者の一人暮らしはバスで送迎し集団接種を行うのか。かかりつけ医で送迎を行っていない場合、バスで対応してくれるのか。

答 外出が難しい方は、訪問も含め接種方法について医師会と協議していきたい。また、施設入所者に対しても訪問で対応できないか相談している。



産業振興課

問

コロナ禍による事業者に対する支援は1事業者あたり10万円の給付金である。大勢の従業員を抱えている事業者や個人経営者等、事業規模によって多少の差をつけてもよいのではないか。

答 一律10万円で設定している。国の第3次補正の検討時期でもあり、商工会と相談し、必要に応じて検討していきたい。

地域整備課

問

あぶくま球場の改修は、公式戦ができる野球場の規格まで改修することは考えられるのか確認したい。

答 人を呼ぶ大会となると、観客席や、全面フェンスが必要などの基本条件がある。

公式戦の規格も視野に検

討はしていくが、現在の設置状況から判断するとかかなりハードルが高いと思われる。



▲あぶくま球場

教育課

問

スクールバス委託の契約内容は、運行数が増えれば金額が増えるのか、それとも一定額か。

答 スクールバスは11ルート運行で3年契約としている。

臨時運行分は別に支払いをしている。

令和3年度

主要プロジェクト

「未来へ おのまち総合計画」の目標達成のための主要プロジェクトは次のとおりです。

基本目標 ① 子育てや教育の喜びを感じ、そして生きがいを見出すために (単位:千円)

事業名	事業費
認定こども園整備事業	294,500
小中学校学力向上対策事業	13,500
外国語理解推進事業	4,800
特別支援教育推進事業	19,700
スクールバス運行事業	83,200
地域と学校の連携・協働事業	100

基本目標 ② 便利で住みよいきれいな町を目指して

事業名	事業費
役場庁舎整備推進事業	4,500
小野インターチェンジ周辺開発推進事業	6,400

基本目標 ③ 将来への不安のない健康的な暮らしを全ての町民へ

事業名	事業費
各種健康診査受診率向上事業	22,500
壮年期からの健康づくり事業	3,700
運動の習慣化による健康づくり推進事業	7,800
公立小野町地方総合病院支援事業	143,500

基本目標 ④ 働く喜びをみんなで感じるために

事業名	事業費
夢のある地域農業推進事業	8,100
優良和・乳牛導入事業	4,100
農業基盤整備事業	63,300
多面的機能支払交付金事業	24,500
6次産業化と発酵のまちづくり推進事業	7,300
町特産品販売力強化支援事業	2,500
創業支援事業	—

※主要プロジェクト・主要事業の事業費は10万円未満切上げ「—」は予算計上なし

総務文教常任委員会

総務課

問 職員の通勤手当の距離数は自宅からでよいのか。

答 職員の自宅から勤務地までの距離である。住居が変わるたびに職員が届出をしておりその都度距離を計算している。



厚生産業常任委員会

健康福祉課

問 90歳と100歳でどのようなお祝いを出しているのか。

答 90歳の方には敬老会の時に5万円を、100歳の方は誕生日に10万円を贈呈している。

今後は90歳の方についても誕生日に交付するよう改正を検討している。

問

御祝金を受け取る場合、小野町に住所を10年以上要すると要件があるが、田村市では1年、郡山市では6カ月以上の住所要件となっている。今後住所要件についても検討していただきたい。

答 三春町でも住所要件は1年以上となっており、住所要件を検討していく。



地域整備課

問 住宅の家賃はいくらか。

答 公営住宅は収入基準により決まるが世帯の家族構成や人数により各世帯の家賃が異なる。

問 極度額の設定は新たな入居者から適用するのか。

答 公営住宅並びに特定公共賃貸住宅共に施行後の入居者から対象となる。

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対が「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
定例会3月会議	町長	令和2年度小野町一般会計・各特別会計等補正予算 6件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度小野町一般会計・各特別会計等予算 7件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町笑顔とがんばり長寿者敬愛条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町公営住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町町営住宅等条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、予算関係議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。（6月下旬掲載予定）

会田 明生 議員 8ページ

- 1 一般行政について
 - ・予算編成方針について
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ◆ ・新型コロナウイルス感染症による地域への影響について
 - ◆ ・影響への対策にあたっての基本的な考え方について
- 3 町長の政治姿勢について
 - ・2期8年の総括について

渡邊 直忠 議員 9ページ

- 1 令和3年度小野町が取り組むべき事業計画について
 - ・商工業支援について
 - ◆ ・農業振興について
 - ◆ ・小野高等学校支援について
 - ・都市交流事業について
 - ・ファウンディングベース事業について
 - ・踏切改良、自治体支援への小野町の対応について
 - ・福島大学との連携について
 - ・企業誘致について

會田 百合子 議員 10ページ

- 1 公営住宅について
 - ◆ ・公営住宅の空き部屋の見通しと対応について
 - ◆ ・高山団地2号棟の防風林の伐採計画について

竹川 里志 議員 11ページ

- 1 環境問題について
 - ・生活排水の処理形態別人口について
 - ◆ ・生活排水処理計画について
 - ・し尿処理及び浄化槽汚泥収集について
- 2 生活環境について
 - ◆ ・防犯対策事業について

水野 正廣 議員 12ページ

- 1 こまちダム周辺整備について
 - ◆ ・こまちダム周辺整備の計画について
 - ・地元ボランティア団体の支援策について
- 2 歩道橋整備について
 - ・中通地内歩道橋の整備計画について
- 3 有害鳥獣被害について
 - ・イノシシの捕獲頭数について
 - ・捕獲に対する支援金等について
 - ◆ ・捕獲後の処分等について
- 4 新型コロナウイルス感染症について
 - ・新型コロナウイルスワクチンの接種について

中野 孝一 議員 13ページ

- 1 小中学校学力向上対策について
 - ・対策取り組みについて
 - ◆ ・次年度以降の取り組みについて
- 2 定住推進対策について
 - ◆ ・対策取り組みについて



問

新型コロナウイルス感染症による 地域への影響は

答

心への影響にならないように 安全安心の確保に努める

問 新型コロナウイルス感染症による暮らしや経済等への様々な影響に対して、地方創生臨時交付金等を活用し、感染予防・感染拡大の防止、雇用の維持と事業の継続、経済活動の回復等に力を注いできたところですが、新しい生活様式の定着化により日常生活や経済活動がどう変化していくのか、町民の皆さんの不安を払拭させるうえでも重要になってきます。

このような災害が発生しても小野町が安心して暮らせる、事業を続けられるという地域であってほしいと考えます。今後の影響をどう予測するのか、町長の考えを伺います。

町長

新型コロナウイルス感染症拡大が続き、活動制限や経済停滞など町民の生活に大きな影響を及ぼしており、町民の不安やストレスは日を追うごとに増大していると感じております。

新型コロナウイルス

感染症との闘いは長期戦になることが見



込まれ、町民のこころへの影響が危惧されるところです。こうした試練を乗り越えるためにも様々なメッセージを発信するとともに、それぞれが抱えている状況や不安などに虚心に耳を傾け、衆知を集めながら予測し、町民の安全・安心の確保に努めて参ります。



会田 明生 議員

問

コロナ禍の影響への対策に あたつての基本的な考え方は

答

一人一人の声に耳を傾け

感染症対策に取り組む

問 新型コロナウイルス感染症の拡大、蔓延防止の措置により日常生活や経済活動に様々な影響が及ぶことと思います。安全・安心なまちづくりのためにきめ細やかな支援が必要だと思います。今後、地域経済や日常生活において予測される影響に対し、様々な対策が必要となることと考えられますが、対策を講ずるにあたっての基本となる考え方は何か、伺います。

町長 町民の皆さんの健康を第一に考え、引き続き新しい生活様式を基本としながら感染症対策を徹底し、ワクチン接種の体制を確実に進めて参ります。直接的な大きな影響が予想される飲食店や事業者の皆さん、子育て世帯や高齢者の皆さんの気持ちに寄り添い、不安を和らげる真に必要な支援を届けて参ります。



プレミアム商品券(商品券と食券)



渡邊 直忠 議員

問

農業振興について

答

多様な振興策について、 県や関係機関と連携しながら取り組む

問 農家の高齢化や担い手対策、耕作放棄地の防止、圃場整備の実施計画等、これらの今後の具体的な内容の説明と早めに行動プランの説明をいただきたい。

町長 農業は食糧の確保のほか、国土の保全、動植物の生態系の維持など多面的な機能を有しておりぜひとも守っていかねければならない産業と認識しています。



町長 幼少期からの人づくりに取り組むという意識づくりが最も大切であり、条例の制定も意識を醸成する手法の一つと考えます。小野高校を含む町の教育の魅力化

問 小野高校支援と小野町教育環境整備は、地元が実施すべきであり、町がゼロ歳児からの人づくり条例等の制定により町の認知度の向上と更なる連携により、地域と協働の事業につながり、小野高校の魅力化に向けて取り組むべきと考えますが、町長の見解を伺います。

答

町の「教育の魅力化」を 推進することが支援につながる

を推進することが、小野高校の定員確保や地域留学を活用した高校を核とする地域の活性化を促進し、担い手の育成や持続可能なまちづくりにつながると考えております。

問

県立小野高等学校への支援は



県立小野高等学校

問

公営住宅の今後の空き部屋の 見通しと対応は

答

減少傾向にあるため 用途廃止を含めた適正管理を

町長 本町における公営住宅入居者は住宅困窮者に対して供給される住宅であり、入居者数が増えつつありますが、近年空き部屋が増加している状況です。住宅の取得や親や子と

問 町の財産である公営住宅について、最近では空き部屋が多くなっているように思われます。
それぞれの公営住宅の事情もあると思いますが、今後の空き部屋の見通しとその対応を伺います。

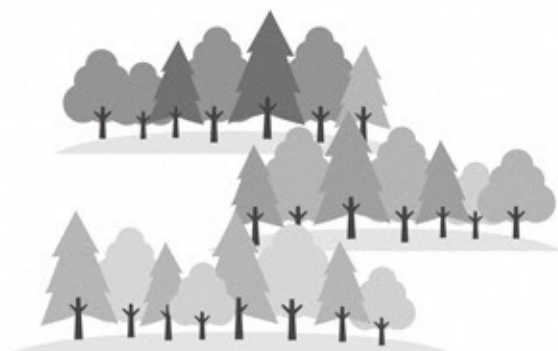
の同居、施設への入居や他市町村への転居など入居者の諸事情によるものですが、今後人口減少などに伴い空き部屋が増加することが予想されます。
将来の需給バランスを見据え、老朽住宅の解体、住み替えによる団地の集約化など、用途廃止を含めた公営住宅の適正管理に努めて参ります。



會田 百合子 議員



高山団地支障木



問

高山団地2号棟の防風林の伐採計画は

答

令和3年度中に支障木の伐採を予定

問 高山団地2号棟入居者の駐車場に植えてある防風林が大きくなり、一部が建物に接触して木のツタが防犯灯を遮る問題もあります。

課長 住宅建設当時は入居者の住環境及び景観に配慮し、植栽伐採の計画あるいは検討する考えがあるのか伺います。

などの緑化を行ったが年月の経過により大きく成長し、一部支障をきたしております。高山団地で入居者による作業が困難な高木があるため、今年度及び次年度において支障木の伐採を予定しております。



竹川 里志 議員

問

生活排水処理計画の取り組みは

答

広報等により情報発信と普及啓発

問 小野町は公共下水道整備を行わず、合併処理浄化槽の整備促進で生活環境の向上を図っているが、環境負荷や河川の水質改善を図り、町民への水の適正利用に関する普及と啓発をするために、長期的・総合的視点に立った生活排水処理を適正に図っていくかなければなりません。そのために計画の達成目標やデータの数字等の情報を公表し、町民と情報を共有したうえで啓発していかねばならないと思いますが、

どのように取り組むのか伺います。

町長

本町における生活処理排水率は全国や県平均から見ても依然低い水準です。令和3年度から10年間の計画期間とした「小野町一般廃棄物処理基本計画」における目標達成のため、現状及び基本計画の内容及び基本計画の内容について、町広報紙等の情報発信により町民と共有認識を図り、水環境に対する住民意識の向上を図られるよう普及啓発に取り組みながら、引き続き公共用水域の水質保全に努めて参ります。



問

防犯灯設置による防犯対策は

答

安全・安心なまちづくりのため

計画的な防犯灯の設置

問

「コロナ禍における経済の落ち込みの解消と将来への持続可能なまちとして、明るく安全安心なまちづくりのため防犯対策や高齢者・子ども達の交通安全対策、町民の運動不足の解消となる町歩きのためにも、主要幹線道路には環境負荷のかからないLEDの防犯灯を計画的に設置してはどうか伺います。

町長

町では各行政区からの防犯灯新設要望箇所などを基本に、優先順位等を勘案しながらLED防犯灯の設置に努めてき

ました。歩行者が安心して通行できるよう、安全・安心のまちづくりや交通安全の確保に向けて、今後も引き続き計画的にLED防犯灯の設置を進めて参ります。



LED防犯灯の設置による安全・安心なまちづくり

問

こまちダム周辺の整備は

答

景観維持と環境保全に積極的に関与する



水野 正廣 議員

問 こまちダムは県管理のダムですが、周辺整備については町の関与が必要不可欠であり、町民憩いの場として整備するべきだと思われませんが、考えを伺います。

町長 町民の憩いの場として保全していくためには、町が景観維持、環境保全に積極的に関与する必要がありますと考えています。管理者である県及び地元行政区、支援団体と連携を図りながら、引き続き現施設の維持、周辺の環境整備に努めて参ります。



地元行政区の協力により環境整備されているこまちダム

問

イノシシ捕獲後の処分は

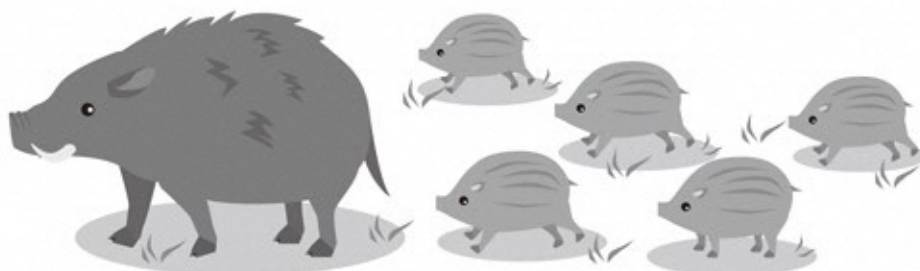
答

近隣市町村や広域圏での取り組みを推進する

問 捕獲後、埋設処分をするにあたり年々頭数が増えており、埋設場所が不足するのではと危惧するところですが、どのように考えているのか伺います。

町長 捕獲後の処分方法については近隣市町村も同様の問題を抱えております。

今後、鳥獣被害対策実施隊の負担軽減が図れるよう、近隣自治体との協議継続に加え、「こおりやま広域圏」での議論に積極的に参加し、対応して参ります。





中野 孝一 議員

問

小中学校学力向上対策の 次年度の取り組みは

答

行政・学校・地域の連携と 協働体制の充実による学力向上

問 教養の定着とレベルの向上が地域を活性化させ、定住人口の増加をもたらすという考えがある中、町として学校教育を通じてよりよい社会を作るという目標を、学校と社会が共有し、連携・協働による実現を図りながら、どのような施策を講じて学力向上に向けて取り組んでいくのか伺います。

教育長

総合学力調査や各種検定料の全額助成、中学3年生対象の夏期講習などの

施策を継続するとともに、小野町学力向上推進委員会を設置し事業推進し強化を図ります。

また、ICTを効果的に活用した授業改善に努め、学校生活や健康上の問題解決を図りながら、学力向上の基盤となる健全な心身を養います。

行政・学校・地域が連携・協働することにより、学校教育の充実と学校の活性化が期待され、地域の教育力の活用を図り、子どもたちのコミュニケーション能力や自己肯定感を育みながら学力向上に努めます。



問

定住推進対策の 取り組みは

答

人口減少対策を 中心とした事業の実施

問

小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

において4つの基本目標を定め、人口減少を克服し、地域活力を向上させるため取り組みを進めてきましたが、小野町定住推進事業実施要綱が令和3年3月31日限りで効力を失うことにあたり、PDCAサイクルの進行管理による新たな事業対策で、長期的に持続可能な町づくりを目指す必要があると思います。

町長

新たな定住支援要綱を整備し、位置付けられていたふるさと暮らし支援事業や定住祝金事業等の支援策の見直しと継続、また新たに国県の補助を活用し東京圏からの移住の促進及び担い手不足対策として、移住支援金事業、子育て支援基金を活用した結婚新生活支援事業や

育児用品購入助成事業を予定しております。各種施策は、地域社会の活性化に結び付き人口減少抑制の成果が上がるまでには長時間を要することから町の最重要課題として人口減少対策に取り組んでまいります。



人口対策プロジェクトチーム会議の様子



どうなった？

あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

万景歩道橋の老朽化による補修工事の進捗状況は

質問

万景歩道橋は今年の4月から、小野小学校のスクールバス発着場所である小野町多目的研修集会施設から学校までの通学路となっています。

設置から43年経過しており、老朽化のため所々補修が施されている現状ですが、子供たちの更なる安全性を確保するためにも、全体的な補修工事が望まれます。県による現在の工事計画の進捗状況を伺います。

(令和2年定例会6月会議)

答弁

万景歩道橋については、老朽化も著しい状況から町では修繕及び詳細な調査・点検を要望しております。本年度、県において全面補修工事を行うための実施設計書を取りまとめている段階と聞いており、進捗状況としましては、秋口から補修工事の着手を目指しており、早期に完成できるよう、引き続き県と協議を重ねていきたいと考えております。

質問

万景歩道橋の整備について、県当局で予算化し進めているとのことであるが、その後どのような進展を見ているのか伺います。

(令和3年定例会2月会議)

答弁

本年2月に入札を執行し、工期は7月上旬で4月以降に本格工事になるものと報告を受けております。県との連絡を密に、事故なく着実に完成できるよう県及び関係機関と連携し進めて参ります。

その後

万景歩道橋につきましては、本年2月に郡山市の橋梁修繕工事専門業者が落札し、本年7月までの工期で、現在、階段部・高欄部・排水設備等の橋梁修繕工事が実施されているところであります。

工事期間中、ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしますが、県と連携を図りながら安全管理の徹底に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。



▲万景歩道橋

議会活動日誌

2月

- 4日 田村広域行政組合議会定例会(三春町)
- 10日 月例全員協議会/議会運営委員会
- 12日 郡山地方広域消防組合議会(郡山市)
- 15日 議会運営委員会/全員協議会/総務文教常任委員会
- 17日 例月出納検査
- 18日~3月1日 小野町議会定例会2月会議
- 25日 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)

3月

- 1日 小野高等学校卒業式
- 10日 厚生産業常任委員会葉たばこ播種状況視察
- 12日 小野中学校卒業式
- 15日 小野町長選挙当選証書授与式
- 16日 月例全員協議会
- 17日 6次化・発酵のまちづくり推進協議会設立総会及び記念基調講演会
- 19日 小野町交通対策協議会
- 22日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議/小野町特別職退任式
- 23日 町長就任式/小野小学校卒業式
- 25日 例月出納検査/小野富岡線バイパス工事開通式(いわき市)
公立小野町地方総合病院企業団議会
- 26日 小野町教職員離任式/小野町商工会創立60周年記念式典
- 29日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

4月

- 1日 小野町教育長退任式
- 2日 小野町教職員着任式
- 5日 全員協議会
- 6日 小野小学校入学式/小野中学校入学式
- 9日 小野高等学校入学式
- 12日 月例全員協議会
- 15日 田村地方町村議会議長会定期総会(三春町)
- 23日 例月出納検査



3月10日 厚生産業常任委員会葉たばこ播種状況視察

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

定例会6月会議は

6月9日(水)から開会します。

一般質問は6月10日(木)と11日(金)の予定です。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - YouTubeによる動画配信をいたします。(本会議の一般質問のみ)
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

表紙の写真

田植えの時期というところ、だいたい「1ヶ月頃かな？」に思っているけど、意外と知らない人が多いのではないだろうか。今年は、ゴールデンウィークが終盤になるころから、町内のあちらこちらで田植えをする風景が見られました。

生産者の皆さんはこれから収穫まで、害虫への対応や、雑草の除去など秋の収穫までの手入れが大変です。初夏、青々と茂った稲が、秋には見事な黄金色に変わっていく様子も楽しみながら、大豊作を祈るばかりです。

スマホ用アプリ

マチイロで配信しています！

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧ください。

QRコードから
アクセス
してください



小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

3月には気温が20℃を超える日があり、5月には降雪によるピーマン生産農家の被害が発生するなど想定外の気候が続いています。世界的に二酸化炭素排出削減目標が制定され、一人ひとりが節電に心がけるだけでも、十分に貢献できます。

レジ袋やストロー等のプラスチック製品は、ウミガメがクラゲと間違えて飲み込んで死亡する事例があります。マイクログラスチックを魚が飲み込み魚肉に蓄積され、それを食べた人間の体内に蓄積されてしまいます。小さな子どもたちの健康のためにも、みんなで環境問題を意識しましょう。

小野町議会広報編集委員会 委員
先崎 勝馬

・あどがき・